

2025年1月31日

シカゴ日本商工会議所新年会の特別ゲストである荻野目洋子様・辻野隆三様ご夫妻に公邸にお越し頂いた他、中西部各地で日本関連団体の新年会に参加し新年の挨拶をさせて頂いた。

1月20日のトランプ大統領就任式が世界の注目を浴びていたが、中西部の3州の人々にとっては、新知事就任の方が、より身近にお祝いするビック・イベントだ。インディアナ、ミズーリ、ノースダコタの3州で、昨年11月の選挙で勝利した新知事が就任し、新体制がスタート。3州とも共和党の牙城で、トランプ新政権に近い。

1月27日、プリツカー・イリノイ州知事（民主党）に公邸夕食にお越し頂いた。同知事は昨年10月に州の経済ミッションを率いて訪日。同知事の公邸来訪は初めて。非常にチャーミングで、人懐っこく、人を魅了する人物と見受けられた。

1月29日、日本美術振興に尽力してこられたジョン・テラモト・インディアナポリス美術館名誉学芸員に対する外務大臣表彰と記念夕食会を公邸で開催。テラモト氏御家族と御友人・同僚には片道4時間かけてエヴァンストンまでお越し頂いた。

「日本美術の奥底には豊かな本質の世界が広がっている」（テラモト氏）、「テラモト氏を通じて日本美術という財産を米国人が学べる」（同僚の名誉学芸員）等のお言葉を頂いた他、息子さんから父親への言葉と奥様から御主人への心温まる言葉に、胸が熱くなった。



荻野目洋子ご夫妻と



プリツカー知事と



テラモト氏と

1 中西部各州における新体制の始動

1月13日（月）、セントルイスに飛び、ナップ名誉領事と合流。陸路2時間、ミズーリ州都ジェファーソンに向かった。

14時から知事公邸にて知事夫妻との Meet & Greet。厳寒の中、知事公邸に向かう道路には長蛇の列ができています。キーホー新知事夫妻に自己紹介して記念撮影。素晴らしい内装と調度品で飾られた知事公邸。各州ご自慢の州議事堂と知事公邸を訪れることは、中西部各州を出張する際の楽しみの一つだ。公邸前にいたTV局のインタビューを急遽受けることになり、日米関係について発信機会を得た。

19時から州議事堂にて就任グランドマーチとボール。中央ホールにて、知事や副知事のみならず、全ての州議会議員の名が順番に読み上げられ、配偶者と子供も皆ドレスアップして一緒に螺旋階段を降りながらお披露目される。州要人や議員が各自の執務室に飲み物・軽食・記念品を用意し、参加者が思い思いに歩き回り、自由に飲食と会話を楽しんでいる。知事就任時が一番大規模で華やかだが、新しい州議員が就任する2年毎に開催しているとのこと。

翌日、キーホー新知事、ワシンガー新副知事と各々30分会談。二人にとって就任後の初会合が私との会談となった。式典への他国外交団の参加がない中で、日本のプレゼンスと関心を示し、ミズーリ州経済・雇用・地域社会に対する日本企業の貢献と日米関係の重要性についてのメッセージを強く印象付ける機会となった。



議事堂内の知事執務室にてキーホー知事と

インタビューを受ける

1月18日（土）、ノースダコタ州最大都市のファーゴに飛び、レオンハート在ミネアポリス名誉領事と合流。寒波の中、陸路3時間、州都ビスマルクに向かった。

アームストロング新知事の就任式には、州の主要人物をはじめ、老若男女1700人が集まっている。会場を「Armstrong 球場」と銘打ち、芳名帳代わりに野球ボール・モニュメント（数字34は、第34代知事を表わしている）、野球ボールに模したデザート、知事が投げ、子息がキャッチする「始球式」など、随所に知事ご関心の野球をテーマにした演出。上映されたPR映像も、知事選挙キャンペーン映像を作成時のNG集。知事夫妻への親近感を喚起していた。

新知事、新副知事、（同州唯一の）連邦下院議員、州農務長官、州司法長官等に自己紹介し、日米関係、日本ノースダコタ州関係について意見交換。日本のプレゼンスと関心を早急に示す機会となった。ストリンデン新副知事（右下写真の中央）とフェドルチャック連邦下院議員（同左側）の2人は高校時代からの同級生とのこと。



アームストロング知事



ボール・モニュメント



連邦議員・副知事と

2 中西部各地の新年会

米国の正月はあっけなく終わり直ぐに仕事始まりとなる中、日本関連団体の新年会が中西部各地で開催される。開催自体が、一大イベントとして、求心力や親睦を強める機会になっているように見える。

歴史と伝統あるシカゴ日本商工会議所は毎年特別ゲストを新年会に招いている。今年は荻野目洋子さん。「ダンシング・ヒーロー」をはじめ700人近い参加者に1時間にわたり歌と踊りを披露された。

1月下旬、昨年に引き続き、セントルイスで、日本商工会議所と日本人会の新年会で新年の挨拶をさせて頂いた。

セントルイス日本商工会は1987年設立。加盟17の周辺地域の日系企業の親睦と相互研鑽の他、日本語教室への支援、親善・交流を通じた地域社会への貢献も。管轄10州の中ではシカゴ以外では唯一の商工会。中西部の各地で、日系企業が長年にわたり米国経済・雇用・地域コミュニティに貢献して良好な日米関係の礎となる信頼関係を築いてきていることに改めて感謝申し上げた。

セントルイス日本人会は1973年設立。半世紀以上の長い歴史を誇る。現在、ワシントン大学で老化・寿命の研究をしている今井眞一郎会長が、超高齢化社会がもたらしている世代やコミュニティ内の断絶の中で、日本人会の活動を通じて絆を復活させようとしている。皆様と一緒に、ボストンから届いた新鮮なお刺身を楽しませて頂いた。



セントルイス日本人会の新年会



セントルイス日本商工会の新年会